

令和6年度精華町子どもの読書環境づくり推進協議会（第1回会議）

議事摘録

■日時

令和6年9月13日（金） 午後1時30分から午後2時50分まで

■場所

精華町立図書館1階集会室

■出席者

<委員>

小寺 美佐江 委員（元宇治市東宇治図書館館長）

播磨 富士子 委員（社会教育委員）

重村 直志 委員（町内小・中学校校長代表）

十河 三奈子 委員（町内幼稚園園長代表）

市橋 純子 委員（教育部教育支援室指導主事）

上野 泰弘 委員（精華町立図書館長）

石崎 勝巳 委員（健康福祉環境部子育て支援課長）

※田島 寛 委員（精華町PTA連絡協議会代表）は欠席

<事務局>

教育部 松井部長

学校教育課 田原課長、森山主任主査

生涯学習課 小笠原課長、河西課長補佐、奈良主査

■内容

1. 開会 司会進行：小笠原課長
2. 委嘱状交付 ※机の上に配布
3. 教育部長挨拶

4. 委員紹介

5. 役員の選出

会 長：小寺 美佐江 委員

副会長：播磨 富士子 委員

6. 議題 進行：小寺会長

(1) 今後の予定（事務局より）【資料5】

協議会の日程（全3回）および各回の協議事項、計画策定までのスケジュール等について説明

(2) 子どもの読書環境整備5か年計画（第四次）について

○子どもの読書環境整備5か年計画（第四次）

第四次計画策定の経緯、第四次計画期間における部会の各取組の概要、「第五次子どもの読書活動の推進に係る基本的な計画」（文部科学省、令和5年度策定）の一部紹介

○令和5年度末の学校図書部会のまとめ（事務局より）

○令和5年度末の地域・家庭部会のまとめ（事務局より）

(3) 子どもの読書環境整備5か年計画（第五次）に向けた意見交換

（小寺会長）

- 精華町立図書館の蔵書数における児童書の割合はどの程度か。

（事務局）

- 約3割【※】である。

※約3割

=児童書数63,484冊÷所蔵合計218,683=0.29

<数値は「図書館年報（令和5年度）」より>

（播磨副会長）

- 子ども向けの行事として司書体験を開催されたが、様々な地域から集まられたとか、感想等、いかがか。

（事務局）

- 図書館新館開館20周年の年（令和3年度）に初めて開催し、好評であったため、以降、毎年開催している。様々な地域の子どもたちが参加し

てくれている。本年度は定員を増やし、12名が参加された。そのほか、司書の体験という点では、精華西中学校の職場体験や大学のボランティア実習受入も行っている。

(小寺会長)

- 自分も図書館勤務時代に同様の行事を開催したが、大変人気であった。図書館に行く要因になったり、職業体験の経験として夢を持ってくれたらと思う。

(重村委員)

- (小寺会長からの「小学校の状況はいかがか」との問いに対し) コロナ禍では、読み聞かせや本に触れる時間などすべての活動が中止になった。現在はコロナ前に戻った部分もあり、試験後や昼休み等の時間に生徒が読書をしたり、掃除時間の代わりに本を読む時間に充てている学校もある。山田荘小学校では、ボランティア等による読み聞かせを再開し活動して頂いているが、学校によっては、(ボランティア等の) なり手不足の問題もあり、核となる人がおらずどなたに声をかけたらいいのかわからないなど、中止した活動を復活させるのは難しい学校もある。

(播磨副会長)

- 以前に図書館の、図書ボランティア向け養成講座に参加した。その際に参加された、現役ボランティアだけではなく、ボランティアを始めようとしている方、子や孫に読んであげたいというこの地域の方に対して(読み聞かせボランティアの) 活動を紹介できたのは良い機会であった。

(小寺会長)

- (ボランティアの担い手について) 子育て世代にも地道に呼びかけていたら。そのあたりの展望はいかがか。

(上野委員)

- 令和3年度と令和4年度に図書ボランティア養成講座を開催し、それぞれ約20名に参加頂いた。今年6月には、綾部市図書館の前館長の生駒氏を講師に招き講座を開催した。ボランティアのみを対象としたものではなく、テーマに関心のある保護者なども参加された。生駒氏には、「こ

のような本を読んだら良い」という話をして頂き、講座終了後も残って参加者と話をされていた。(自身の経験をふまえ) 幼少時から読み聞かせや読書を経験する環境があれば語彙力や発言力等も伸ばせると考える。図書館でこのような計画を作る立場において、本から離れている子どもたちが図書館にいきやすくなるきっかけづくりができればと考える。

(小寺会長)

- 何でもいいので活字に親しんでくれたらと思う。

(十河委員)

- 本園では、コロナ禍で中止していたボランティアの方による読み聞かせが止まったまま。日々、園での行事等で多忙な中で再開のタイミングを見つけるのが難しい。本の貸出もできていない。子どもが選んだ本を保護者と読んでもらうなど、読む時間の楽しさを感じてもらえればとは考えている。
- 町立図書館のカードは作っていて、園からも近いので行きたいとは考えているが、子どもたちの騒がしさを心配している。字が読めない子どもには、恐竜の本を読んだり、本を通し豊かな時間を過ごしてもらいたいと考える。

(播磨副会長)

- 小学生のグループが、(図書館のような場で) 静かにするのは難しいと観察する。図書館資料を見て意見を言い合うことができたらと思うが。

(上野委員)

- 小さなお子さん連れの方にも気兼ねなく図書館を利用してもらおうと、平成27年度から、毎月第1水曜日の午前中、「赤ちゃんタイム」を実施しており、利用者の方にも館内放送で案内している。
- また、令和6年3月には、外にライブラリーテラスを開放した。
- 対象年齢は少し上がるが、令和6年7月からは試行的に自習可能席を20席設置しており、図書館の本を使わなくても自宅から本を持ってきての学習等をしてもらえるようになった。図書館に来てもらうきっかけになれば。10月中旬頃から本格稼働の予定で進めている。

(播磨副会長)

- 図書館入口付近（図書館外）で勉強している子どもたちは暑い中で大変だと思っていたので対応して頂けて良かった。

(上野委員)

- 今でも図書館入口付近で勉強している子どもたちはいる。理由を聞いたところ、2点挙げられた。1点目は、みんなとわいわい話しながらしたいということ、2点目は、飲食しながらしたいということであった。

(小寺会長)

- （自習可能席等の取組に対し）本に近いところで計らってもらっているのは有難い。
- 別件になるが、子どもの図書館の利用という点で、自身が図書館に勤務していた頃、不登校の子どもがきていた。図書館に行くこと自体が外に出るきっかけとなる。図書館は居場所として良いところだということを、周りの不登校の子どもや保護者に伝えてもらえたらと思う。その子がそっと本を借りられることができれば。

(播磨副会長)

- 配布資料の「京都府子どもの読書活動推進計画（第四次推進計画）」【資料7】15頁に、「PTA等を対象とした読書活動に関する講座の開催や～・・・」とあるがPTA等とは。府が関わっているのか。どのような活動か。

(市橋委員)

- 私は京都府教育委員会に関わっているが、この地域は、山城教育局の管轄になる。地域のボランティアや、司書教諭の先生、学校司書の先生などが集まって、活動紹介や情報交換をしたり、講演を聞いたり等の研修の場を設けられている。「PTA等を対象とした」と書いてあるが、ボランティアがPTA主体でされている地域もあるためである。PTAに開催案内が届き、「保護者の方もご参加いただいて結構ですよ、皆さんで学んで広げていきましょう」というような、研修会が多く、年1～2回開催している。

(播磨副会長)

- 幼稚園の方かどうか（参加案内対象となっているのか）。

(市橋委員)

- 私立と公立で対応が分かれている可能性がある。

(十河委員)

- 本の修理の講座を以前（精華町立図書館に）して頂いた。またお世話になりたい。

(上野委員)

- 平成26年度。令和2年度に開催した。そろそろかと考えていたところである。

(小寺会長)

- 学校司書の配置状況は。

(事務局)

- 4名で兼務して頂いている。1人2校を受け持ち、1日5時間勤務して頂いている。ボランティアの方にも図書室の本の貸出を担って頂くなど、なるべく図書室に人が不在の時間帯をなくすよう努めている。

(小寺会長)

- 少しでも拡充が出来ればと思うが。

(事務局)

- 現在の学校司書さんは、子ども一人一人の顔を思い浮かべながら対応してくださるなど熱心に取り組んでくださっている。

(播磨副会長)

- 1校に1人ずつ配置できればと願う。

(重村委員)

- （学校司書については）、教科書に掲載されている内容に関係ある本を集めておいてほしいとか、こんな調べ学習するから、関連本を集めておいてほしい等お願いすれば選んでくださって、どこに何があるとも分かってくさっているのが有難い。

(小寺会長)

- 少しずつでも拡充していったらと思う。
- 学童にも本があると伺ったが。

(石崎委員)

- 放課後児童クラブでは、夏休み期間、熱中症警戒アラートのため、外に出ないようにして過ごしていた。結果として本に触れる時間が増えたのではと考える。本は古いものもあり、購入のほか保護者からの寄贈も受け入れている。読まれている本は漫画が多いように見受けられる。活字に触れ、想像する力を養ってほしい。
- 放課後児童クラブ利用時間内に、一時間程度読書の時間を設けている。夏休みは学校の図書室開放を利用した。
- この間、図書館では、移動図書館車の更新や、返却ポストの設置、自習可能席の開設等に新たに取り組んで頂いた。第五次計画も良いものにしていければと考える。

(小寺会長)

- 返却ポストは仕事帰りの方もよく利用されている。予約有り図書の早期提供に利する。毎日回収しているのか。

(上野委員)

- 返却ポストは週4日回収している。

(小寺会長)

- 移動図書館車は全保育所巡回しているのか。

(上野委員)

- 町立の3園である。巡回先の園では、クラスごとに子どもたちが先生と一緒に来て、本を自分で選ぶ。

(事務局)

- 1人1冊借りることができる。

(小寺会長)

- 幼稚園も巡回できたらいいと思う。

(上野委員)

- 移動図書館車は今回約30年ぶりに更新した。毎週火曜日から金曜日の

午後、各地域巡回しているので午後は予定が全部詰まっている。午前も保育所巡回に加え、地域巡回時に届ける本の選書等の準備作業を行っていたり、それ以外の時間でも各イベントの準備等の業務をしているので、学童や幼稚園等からご要望が出てくるかもしれないが、現状で精一杯させて頂いているというところである。

(小寺会長)

- 移動図書館車の小ささを強みにして（色々なところに）出ていくというのは大きな変化である。
- 制約はあるだろうが、今後ともサービスの拡充をしてほしい。

7. 閉会

(小笠原課長)

- 今後、各部会で、次期計画に向けた内容等をまとめていく予定。
次回の第2回の会議で計画案を提示させて頂き、パブリックコメントも進めていきたい。
- 次回会議は11月15日（金）、午後1時30分から開催。

以上

